

議員のなり手不足解消に向けて 若手消防団員とタウンミーティング

事前アンケート結果

議員（議会）の活動で
思うことは

- どんな活動をしているか、解らない。
- 町政に関して、影響力を感じない。
- 町民の意見をもっと聞いてほしい。
- 年齢層が高いことが気になる。

幸田町の「今」と「将来」
をどう思いますか

- 自然豊かで住み良いが、若い人の流出が心配。
- 世代を超えて町内で暮らし続けられるプランが必要で、少子高齢化が心配だ。

消防団の抱えている
問題は

- 団活動と働き方の多様性に合わない部分が多く、活動内容の見直しが必要。

タウンミーティング結果

- 報酬・費用弁償が改正されたが、メリツトを感じない。

「議員のなりて不足」
の思いを聞く

- 地域性が強すぎて、なり手がいない。
- 年収が500万円ほどで昇給もなく、若い人では無理だ。
- 選挙で落選のリスクを考えると、保障が必要では。

所感

現状では若い人が議員を目指すことの難しさを改めて感じた。

消防団員なりて不足
の現状を聞く

- 親世代では消防団活動に、良いイメージを持たれていない。

- 軍隊的な厳しいイメージを持たれている。

- 地域によっては、若い人を把握できなく、勧誘しづらい。
- 任期5年は長い。見直しが必要では。

所感

親世代の悪いイメージを払拭する必要がある。また、地域の繋がりの大切さを感じた。

現状の活動内容は

- 火消しと防災の活動があるが、どちらに重点を置くかを決め、訓練を明確にすることが重要ではないか。
- 消防団活動では何が必要か、方向を決め、行事を絞るとよい。

所感

団員の多くがサラリーマンで、訓練・行事参加が厳しいようだ。

各分団の運営は

- 報酬の取り扱いが分団ごとに違っている。

- 勧誘時の話と、実際が違いため、幽霊団員の発生があった。

- 消防車の運転には、準中型車免許が必要で、新たに免許の取得が必要になる。

所感

分団ごとに運営面で差があると感じた。全ての分団、団員が同じ条件での活動が良い。

消防団の皆さんに

町民の安全・安心のため、日頃より消防活動にご尽力頂いていることに、感謝を申し上げます。

消防本部からの話

9月21日、タウンミーティングの結果を消防本部と意見交換をしました。

消防本部は、火災は元より災害に強く、地域防災の共助の要としての団を将来像とした。

準中型免許問題は補助に係る制度設計を進めている。

今後は消防団に対する住民理解を深めると共に、団員確保の取り組みを進める。

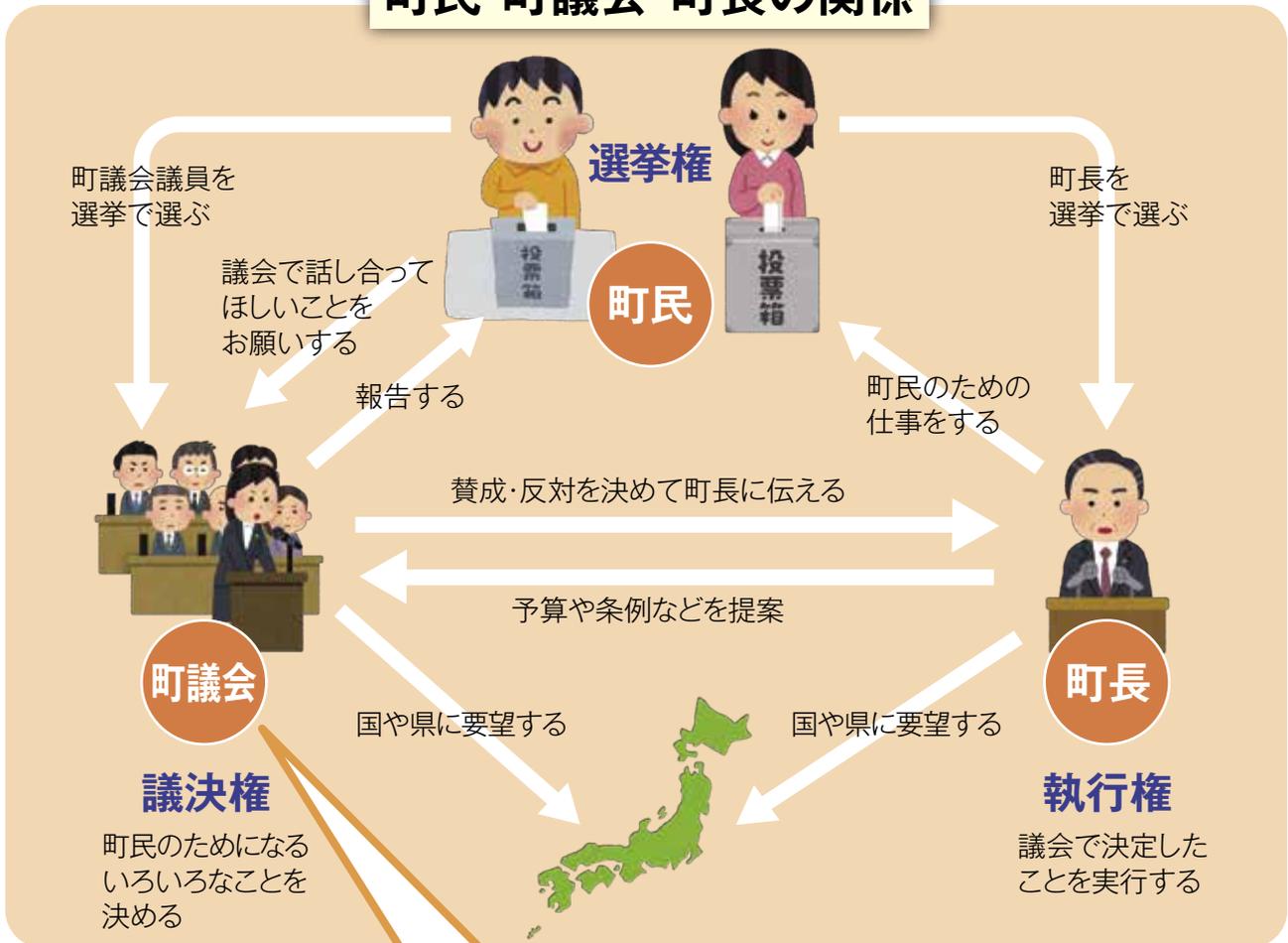


活発に発言する若手消防団員

其の一

議員の仕事ってなあに？

町民・町議会・町長の関係



どのくらいはたらいているの？

定例議会や委員会など、行政と公式に話し合う場(公務)が 議員平均で91日。

(役割によりばらつきがあります)

その他に、議会で話し合うために必要な準備が33～188日。

(社会情勢や議員によってばらつきがあります)

※令和2年度実績 (日)

	最小	最大	平均
公務	56	131	91
その他	33	188	100

年間平均 191

議員が普段やっていることは？

町長の提案に意見したり、町民の声や意見を反映させ、審議の過程で様々な意見を出し合います。「町民の声を行政の施策に反映させ、税金の使われ方を監視する」こと。

主な公務として定例議会や委員会があり、行政と公式な場で慎重に審議し、賛成・反対を決めます。

町独自の法律(条例)を提案することも、仕事のひとつです。

その他に町民の声を確認したり近隣市町・関係各署の調査などを行い議会で話し合うための準備を行います。

議員への問い合わせや相談は、いつでも応じています。ホームページをご参照ください。